

校長室便り

平成31年2月27日（水）No.26

土佐清水市立下ノ加江小学校

校長 山崎 修二

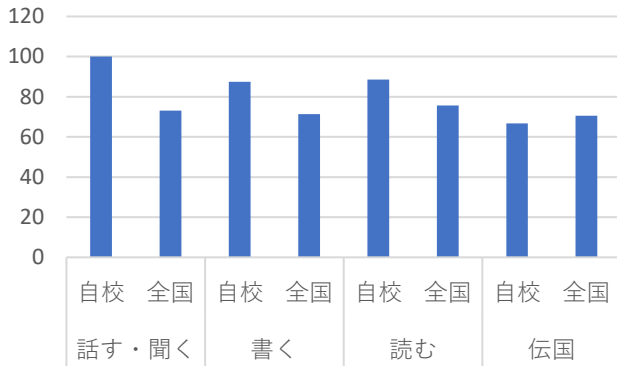
Tel/fax 0880-84-0031

yamasaki_shiyuji@city.tosashimizu.lg.jp

◇高知県学力定着状況調査 5年生（全国比のグラフにしました）

国語

領域別正答率



<成果> *正答率 100%のもの

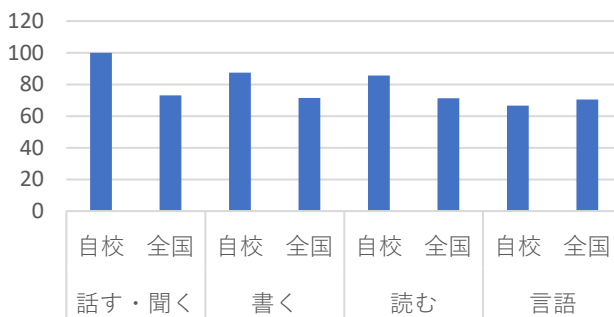
- ・話し手の意図を捉えて聞くこと
- ・話の構成を工夫して話すこと
- ・話し合いの参加者として、立場を明確にして話し合うこと
- ・漢字の読み
- ・敬語の使い方
- ・登場人物の心情、様子を捉えること
- ・目的や意図に応じて簡単に書いたり、詳しく書いたりすること
- ・記事に見出しをつけること
- ・指定された文字数で書くこと
- ・文章の内容のおさえ

<課題>

- ・前学年までの漢字の書き
- ・同音異義語の理解

*グラフ中、「伝国」は4年生と同じ

観点別正答率

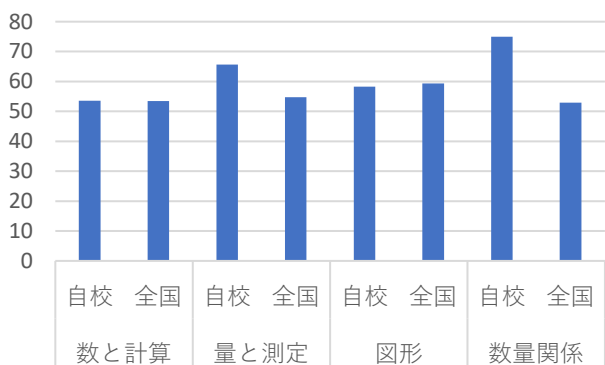


<取組>

- 漢字テストを定期的に行い定着を図る。
- 基本的内容をしっかり扱う。
- 課題を解く時は、問題をしっかりと読み、問われていることを確実に押さえる。
- 長文を読む力をつけるため、引き続き読書の時間を大切にする。
- 課題設定を行った説明文等の書き方を繰り返し行う。

算数

領域別正答率



観点別正答率



<成果> *正答率 100%のもの

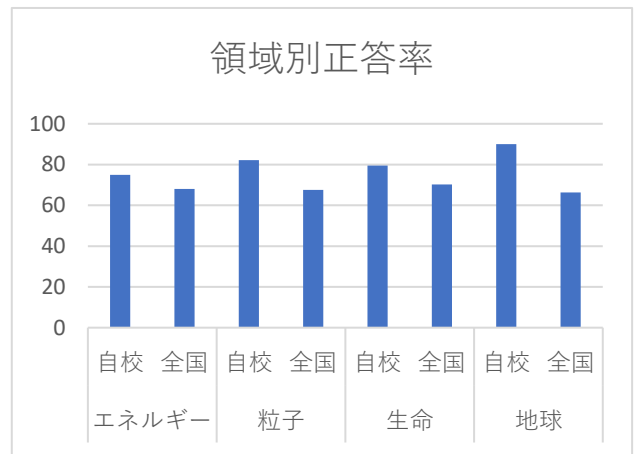
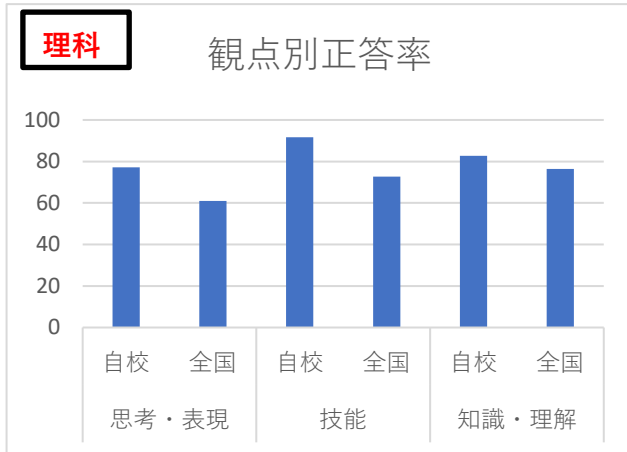
- ・偶数の意味を理解

<課題>

- ・比較量が基準量の何倍かを求める立式したわり算から答えを求める（正答率 0%）
- ・示された情報を問題場面に適用することができる（正答率 58.0%）

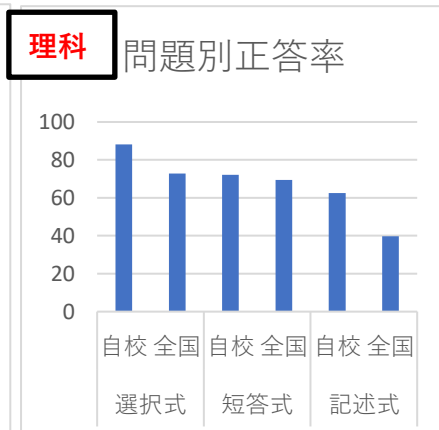
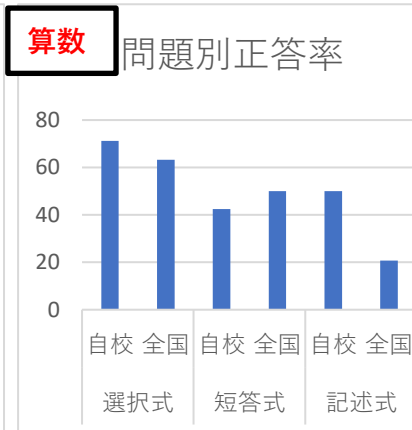
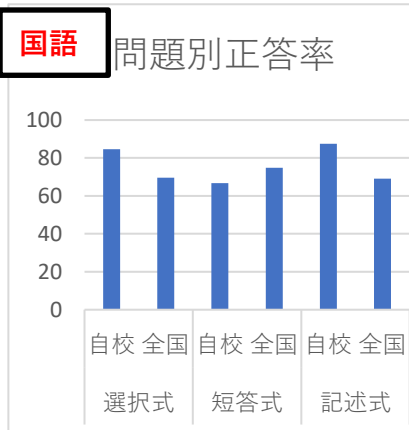
<取組>

- もとにする量、比べられる量、割合の関係を線分図等を使い繰り返し学習する。
- 授業の中で、問題の読み取りができるよう、発問の工夫をする。
- 放課後等を使い、加力指導を行う。



<成果> *正答率 100%のもの
 ・実験の結果から考える（風の働き、ゴムの長さ）
 ・空気の体積の変化 ・液体の正しい加熱
 ・顕微鏡の使い方 ・メダカの受精、孵化の順番、成長 ・水の蒸発
 ・発芽する条件 ・川の流れと上流、中流、下流の様子
 <課題>
 ・方位磁針の正しい使い方、棒磁石の極の説明 ・メダカの雄雌の判断

<取組>
 ○基本的理科用語の使用 ○実験道具の正しい扱い方 ○仮説→実験→検証（授業づくり）
 ○授業の中で、意見を出し合い考え合う授業づくり



*問題形式別では、どうしても記述式の問題が正答率が下がります。国語はしっかり書く力がつきつつあると思いますが、算数の式を理解した上での説明や理科のように実験結果の考察で答えるものが難しいようです。

◇以上、高知県学力定着状況調査結果の報告です。参観日にはご意見等をお願いします。



○お知らせ

*市教育委員会より「登下校等についての対応」の連絡がありましたのでお知らせします。

①登下校について

・今週いっぱい保護者による送迎を行う。スクールバスでの登下校も同様。

②遠足について

・学校行事として実施可能。その場合も登下校は保護者の送迎とすること。

③その他

・来週の対応は金曜日に再度お知らせします。 以上です。

*事件は解決していませんので、引き続き十分な注意をお願いします。

◇遠足について

明日は遠足です。雨天の場合は、朝6：30分頃安心メールでお知らせします。

☆今後の連絡について

・基本、「安心メール」での連絡になりますので、必ず確認をお願いします。開封確認要求がある場合は、開封メッセージの送信をお願いします。